#UiPathForward

日本市場の戦略と2018年の進捗

長谷川 康一 – CEO, *UiPath Japan*

UiPathの
日本市場の戦略

自己紹介

長谷川 康一

1960年　広島県　出身
1983年　慶應義塾大学　法律学部法律学科卒
1984年　アーサーアンダーセン（現アクセンチュア）入社
1993年　ゴールドマンサックス入社　NY,香港,London勤務
2000年　ドイツ銀行入社　日本グループCIO,
　　アジアパシフィック債券部門CIO
2005年　**バークレイズ銀行　アジアパシフィックCIO,**
　　グローバルアウトソーシング事業統括
2008年　**日本COO**も兼務
2017年　**UiPath CEO**

#UiPathForward

UiPathは日本を最優先市場としてコミット

UiPathは
世界のRPA＃1
カンパニー

UiPath

最優先

日本市場に注目

1 成長速度

2 規模

日本での実績がグローバルでの成功に繋がる

#UiPathForward

日本RPAソフトウェア市場は 2022年末に1000億円に到達

規模 経営基盤として1000億円

成長速度 5年でAIの風に乗り相乗的に成長

RPA全体の市場規模はその5倍以上

ERP パッケージライセンスの市場規模（エンドユーザー渡し価格）	
2016年	**約1130億円**
2019年（予測）	約1300億円

出典：矢野経済研究所

AI Cognitiveの市場規模（ユーザー企業の支出額ベース）	
2016年	**約160億円**
2021年（予測）	**約2500億円**

（2016−21年 CAGR **73.6%**）

出典：IDC

#UiPathForward

日本において生産性の向上は急務

❗ 日本の一人当り労働生産性はOECD加盟**35**カ国中**21**位、**先進７カ国中最下位**（2017年）

- ✓ ホワイトカラーの生産性の向上
- ✓ 少子高齢化・労働力不足

→

- ✓ 官民挙げての**働き方改革**
- ✓ **デジタルトランスフォーメーション**実現に向けた**ホワイトカラーの自動化**

UiPath ソリューション

日本は課題先進国　日本で起きることは、世界の先進国で必ず追随する

#UiPathForward

日本仕様はグローバルの基準になる

日本のRPAは
オフショア型（簡単、大量、繰り返し）ではなく

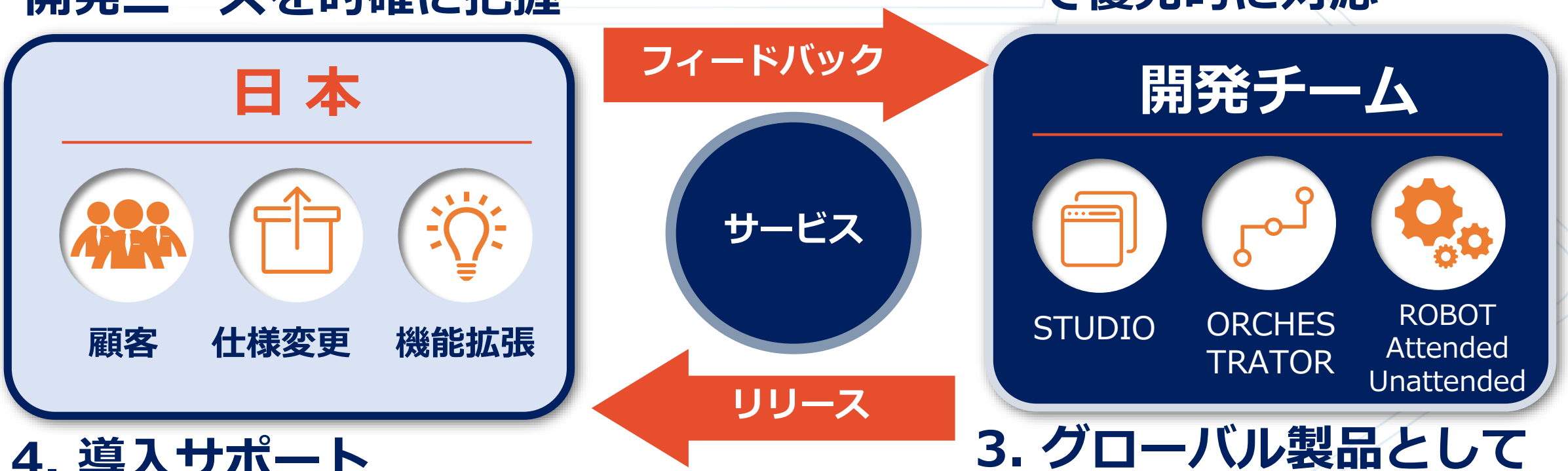
ホワイトカラー型

（複雑・少量・多様性）へ

顧客を優先した品質へのこだわりによる、
複雑で少量の多様性に対する現場の自動化能力

日本仕様をグローバル製品へ　まず日本から

1. 顧客・開発パートナー様の開発ニーズを的確に把握



2. グローバルの開発チームで優先的に対応

3. グローバル製品としてリリース

4. 導入サポート

世界競争で優位に立つ

2018年5月現在 UiPath実績 すでにワールドクラスの先進事例も出現

日本でグローバルレベルの最大の規模およびスピードを持つ導入事例

株式会社 電通 様

電通社長、デモ見て導入即決

長時間労働の是正など働き方改革をやり遂げる責務を負う電通。
気合と根性だけでは残業は減らない。
目を付けたのは、PC雑務を自動化する最新技術「RPA」だった。

電通
働き方改革の大黒柱
月5000時間削減

「労働環境改革の最大の柱は社員1人ひとりの意識改革だ。過重労働をなくすには、働く時間を短縮しつつ効率良く働かなければならない。RPAはその有力な手段だ。大手広告代理店の電通で働き方改革を推進する小柳肇ビジネスプロセスマネジメント局業務推進室長はこう話す。

電通にとって働き方改革は最重要の経営課題だ。新入社員の過労自殺という痛ましい事件をきっかけに、電通は様々な手を打ってきた。まず2016年11月、石井直社長（当時）を責任者とした労働環境改革本部を設置し、過重労働問題の再発防止策を検討してきた。

2017年7月には深夜残業をなくすなど労働関連法規を順守するための「社員の意識改革」や業務プロセスの改善による「総労働時間の短縮」などからなる「労働環境改革基本計画」をまとめ、順次実行している。

一連の取り組みに先駆け、実は2017年春からRPAの導入を進めてきた。RPAはデータのコピー・アンド・ペーストなどPCを使った人手による定型作業を自動化する技術である。人がこなす定型作業を記録し、ソフトウエアのロボットに肩代わりさせることができる。労働環境改革基本計画では2019年度に社員1人当たりの総労働時間を2014年度より2割減らす目標を掲げる。その達成手段として、RPAを適用すると基本計画に盛り込んでいる。

全社の全部門がRPAの適用対象だ。煩雑で手間のかかる「PC雑務」を抱える部署から改善のリクエストを受け付けるなどしてRPAの導入を全社で進める。2017年10月までに260件のPC雑務を自動化した。さらに上乗せして2017年末までに合計400件、2019年末までには約10倍となる2500件の自動化を目指す。

PCからの解放で月5000時間削減

導入業務と成果の一例が約100カ所の放送局を対象としたアンケートの集計作業だ。同社は放送局からメールで届いたExcelシートの内容をPCに保存する作業にRPAを適用した。それまで担当者が3時間かけていた作業を、数秒で終えられるようになった。

会計事務の月次処理や広告ターゲットの分析処理もRPAで自動化し、2017年10月までに月5000時間以上を削減した。会計事務に同社社員が費やしていた時間は1回当たり3時間。RPAを使って自動化した後も、会計事務の処理時間自体はシステムの処理性能などの制約もあり3時間のままで変わっていない。しかし「現場担当者がPCに張り付いていなければならなかった状況を解消できた」（小柳室長）。浮かせた時間を別の仕事に振り向け、社員の総労働時間の削減につなげた。

手作業で実施していた会計事務作業の流れはこうだ。担当者がシステムを操作して一覧表の出力対象部署を指定し、キーボードのエンターキーを押す。すると画面に指定した部署の入出金などの一覧表が出力される。担当者は結果を紙に印刷して、不要なデータを省くといった指示を手書きしていた。

一覧表を出力するまでにかかる時間は10数秒、手書きまで含めた一連の作業を、26部署ごとに繰り返していた。全作業を終えるまでの3時間、担当者はPCの前から動けなかった。

小柳室長らは会計事務を自動化するRPAのロボットを開発。一覧表の出力処理から、担当者が手書きで指示していた不要なデータを省く処理もRPAのソフトウエアロボット（ソフトロボ）が自動的に実行するようにした。

その結果、「社員は他の仕事に専念できるようになった」（石井奈々子業務管理室MCU業務管理部主管）。この成果をふまえ、会計事務と同じように担当者がPCの前で拘束されていた広告ターゲットの分析処理も自動化。5000時間の削減につなげた。

ロボ専門の「人事部」創設

電通がRPAに着目したのは2016年10月のこと。夜10時から翌朝5時までの深夜残業を禁止したころだった。「長時間残業を禁じても、仕事量がそのままでは社員の負担は減らない。ITを使って仕事量を減らす手段を探していた」（小柳室長）。

情報収集のためにコンサルティング会社でRPAの存在を知った。「オフィスワークのPC作業のうち、手順が決まったものを自動化する技術です。国内で普及が始まっています」。こう説明を受けた小柳室長は、デモンスト

RPAを急ピッチで現場に適用
電通が取り組む労働環境改革とRPAの適用計画

2500件 2019年末（予定）
400件 2017年末
260件 2017年10月
導入開始 2017年4月

労働環境改革
社員の意識改革
深夜残業の禁止や法令順守、社員1人ひとりの見守り強化など
労働時間を減らすためにRPAを導入
総労働時間の短縮
人員増強や業務のスリム化、業務プロセス改善など

26回繰り返す3時間の雑務が人手から離れる
電通で最初にRPAを適用した事務作業の概要

条件を変えて26回集計処理をするPC作業を自動化

Before
・1件ずつ集計条件の確認やPC操作が発生
・同じ条件の集計を二度行う操作ミスや、加工ミスも

会計事務システムに集計条件を入力
システムから出力された集計データを加工

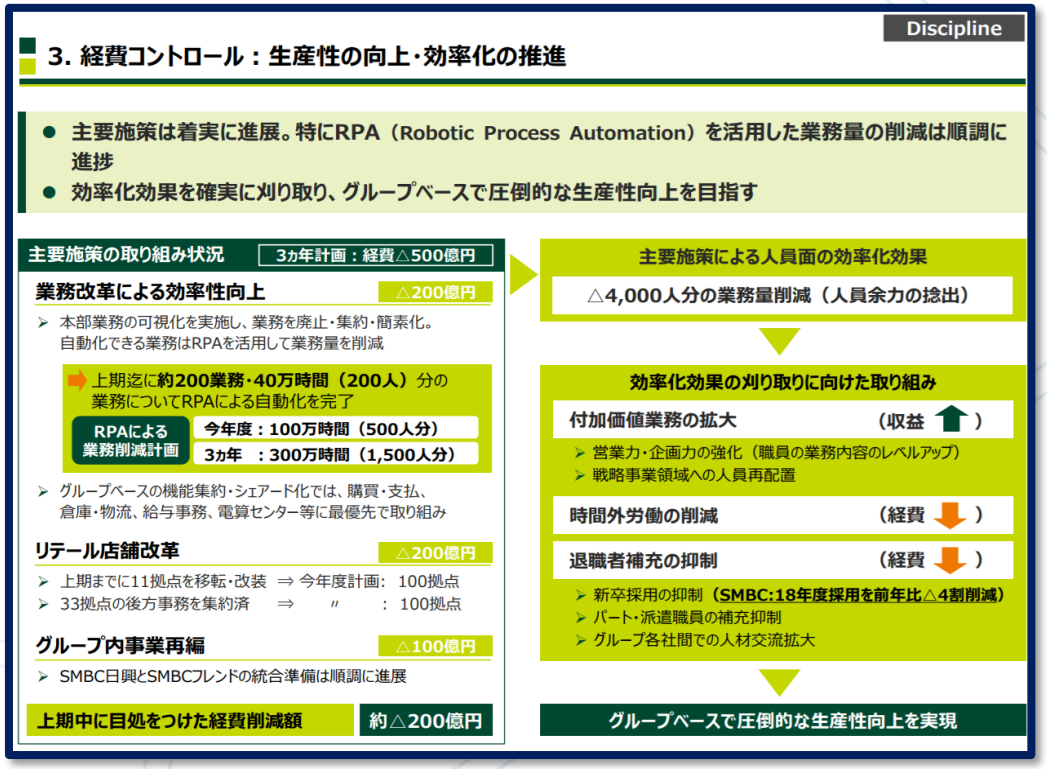
After
・集計条件の確認など途中のPC作業がゼロに
・処理中の3時間、他の仕事をこなせるように

東京・汐留の電通本社（左）と電通の小柳肇業務推進室長（右下）、石井奈々子業務管理室主管（左下）らRPA推進メンバー

024 NIKKEI COMPUTER 2017.11.23
2017.11.23 NIKKEI COMPUTER 025

出典：日経コンピュータ
2017年11月23日号より抜粋

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ 様



Discipline

3. 経費コントロール：生産性の向上・効率化の推進

- 主要施策は着実に進展。特にRPA（Robotic Process Automation）を活用した業務量の削減は順調に進捗
- 効率化効果を確実に刈り取り、グループベースで圧倒的な生産性向上を目指す

主要施策の取り組み状況　3カ年計画：経費△500億円

業務改革による効率性向上　△200億円
- 本部業務の可視化を実施し、業務を廃止・集約・簡素化。自動化できる業務はRPAを活用して業務量を削減
  - 上期迄に約200業務・40万時間（200人）分の業務についてRPAによる自動化を完了
  - RPAによる業務削減計画　今年度：100万時間（500人分）　3カ年　：300万時間（1,500人分）
- グループベースの機能集約・シェアード化では、購買・支払、倉庫・物流、給与事務、電算センター等に最優先で取り組み

リテール店舗改革　△200億円
- 上期までに11拠点を移転・改装 ⇒ 今年度計画：100拠点
- 33拠点の後方事務を集約済 ⇒ 〃 ：100拠点

グループ内事業再編　△100億円
- SMBC日興とSMBCフレンドの統合準備は順調に進展

上期中に目処をつけた経費削減額　約△200億円

主要施策による人員面の効率化効果
△4,000人分の業務量削減（人員余力の捻出）

効率化効果の刈り取りに向けた取り組み
- 付加価値業務の拡大（収益↑）
  - 営業力・企画力の強化（職員の業務内容のレベルアップ）
  - 戦略事業領域への人員再配置
- 時間外労働の削減（経費↓）
- 退職者補充の抑制（経費↓）
  - 新卒採用の抑制（SMBC:18年度採用を前年比△4割削減）
  - パート・派遣職員の補充抑制
  - グループ各社間での人材交流拡大

グループベースで圧倒的な生産性向上を実現

出典：株式会社 三井住友フィナンシャルグループ
「2017年度上期決算 投資家説明会」資料より抜粋

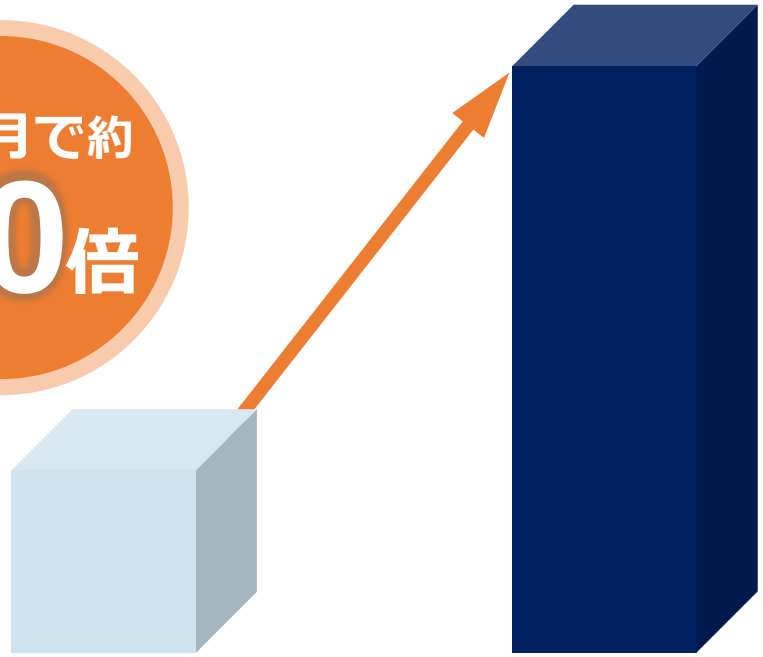
#UiPathForward

2018年
5月現在 UiPath実績

UiPathの顧客数

世界リーディングベンダー
グローバル

18か月で約
10倍



98社
2016年12月

1,000社以上(*)
2018年5月

国内リーディングベンダー
日本

12か月で約
50倍

6社
2017年6月

300社
2018年5月

(*)大規模ユーザー数のみ

#UiPathForward

2018年5月現在 UiPath実績 UiPathは全業種で適用

▼ UiPath グローバルの顧客セグメント ▼

金融	通信・エンターテイメント	小売・消費財	ハイテク・製造	エネルギー	ヘルスケア	運輸・サービス
MassMutual FINANCIAL GROUP	Singtel	Walmart	hp	ExxonMobil	Blue Cross Blue Shield of Michigan	nielsen
PACIFIC LIFE	CAESARS PALACE LAS VEGAS	GOODYEAR	GE	Chevron	OPTUM	DHL
ZURICH	etisalat	McCormick	VOLVO	nrg	AUTOMATED HEALTH SYSTEMS	Deutsche Post
AMERICAN FIDELITY		GAP	BMW	EDF ENERGY	SoftScript	Royal Mail
AXA	BBC		BOSCH Invented for life	devon	AvMed	KELLY SERVICES
Comerica	CenturyLink		HUAWEI	FPL	novo nordisk	EQUIFAX
Gibraltar ジブラルタ生命	ACTIVISION BLIZZARD	TOMTOM	CISCO		Genentech	AVIS Budget
AON Hewitt	telenor		Milton CAT		AstraZeneca	Lufthansa
Eurobank	vodafone	Unilever	vmware			BASF
三井住友銀行 SMBC	MORNINGSTAR	NVIDIA				
CRÉDIT AGRICOLE						
Allianz						
GENERALI						
AAA						
NOMURA						

#UiPathForward

2018年5月現在 UiPath実績 日本の顧客300社のセグメント（例示）

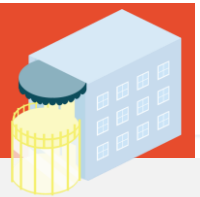
金融

- 中央銀行
- メガバンク
  A行、B行、C行
- 信託銀行
  A行、B行
- 証券取引所
- 大手証券会社
  A社、B社、C社、D社、E社
- 大手保険会社
  A社、B社、C社、D社、E社
- 大手リース会社
  A社、B社

通信 エンターテイメント

- 広告会社
- アパレル
- 通信会社
  A社、B社、C社
- 人材派遣会社
- ITメディア会社
- ゲームソフト会社
- モバイルソフト

小売 消費財



- 小売メーカー
- 食品メーカー

商社

- 総合商社
  A社、B社、C社

ハイテク 製造

- 自動車会社
- フィルム・デジタルメーカー
- 印刷・電子デバイス
- 精密機械メーカー
- 電気メーカー
- 素材メーカー
- ヘルスケア会社
- 製薬会社

エネルギー

- 電力会社
  A社、B社、C社
- エネルギー会社

運輸・サービス

- 鉄道会社
- 航空会社

官公庁・自治体・教育

- 官公庁
- 地方公共団体
- 大学

#UiPathForward

2018年
5月現在 UiPath実績

顧客フィードバック 私たちの強み
プロダクト

グローバルで
ベストな
プロダクト

1. コンピュータビジョン（コンピュータの眼）
   多様なアプリケーションにアクセスできる実績
2. ユーザビリティ
   わかりやすいGUI、開発ツールの豊富さ
3. 小さく産んで大きく育てる
   少数のデスクトップから1000台まで、シームレスに
4. 柔軟なインターフェース (OCR, AI/Cognitive)
   2017年CognitionXのAIイノベーションアワード受賞

2018年
5月現在 UiPath実績

顧客フィードバック 私たちの強み

サポート

グローカルな
サポート

1. グローバルが日本を最優先拠点として対応

2017年の製品開発の40%は日本関連

2. ローカルで技術力・コンサルティング力・英語力を持った人材

日本からメッセージを発信できる人材

UiPathでの先進事例とRPAの一般的な教訓

UiPathの先進事例

株式会社村田製作所 様

株式会社電通 様

株式会社三井住友フィナンシャルグループ 様

トヨタ自動車株式会社 様

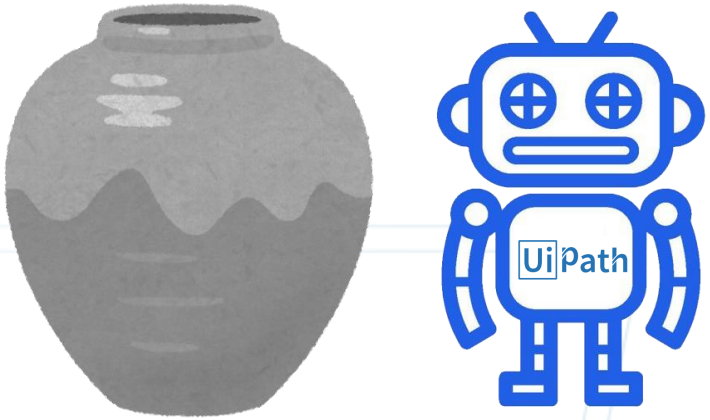
RPAの一般的な教訓

塩漬け 先に進まない

#UiPathForward

RPAの一般的な教訓

次に進むための3つの要件



３つの成功要件

３つの成功要件
スケール･レジリエンス･インテリジェンス

UiPath

ROIをあげるには、全社展開を目指した規模感が必要

1

スケール
（規模感）

- 対応できるシステムの範囲が広い
- トップダウン 大規模な開発
- ボトムアップ 社員での開発
- シングルツールでの管理

#UiPathForward

３つの成功要件（サイズ･カラーチェンジ）
スケール･レジリエンス･インテリジェンス

UiPath

ノウハウの累積とツールを駆使して安定稼働から向上稼働へ

2

レジリエンス
（安定/向上稼働）

- コーディングレスでも標準化可能
- 管理ツールでの積極的な分析
- アプリケーション管理とロボット管理の融合
  （アプリケーション管理ツールとロボット管理ツールの融合）
- より効率的な活用へ（安定から向上）

３つの成功要件
スケール･レジリエンス･インテリジェンス

AIの活用により、業務の広範化及び高度化を図る

3

インテリジェンス
(人工知能(AI)活用)

- 新入社員とUiPathと機械学習
- 人工知能(AI)を始めとするテクノロジーと既存のシステムとの連携はUiPathで

#UiPathForward

デジタルプラットフォーマー
（既存のシステムと新しいテクノロジーをつなぐ）

UiPath

ERP/ビジネスプロセスマネジメント
NEWGEN, IBM, enate, K2, SAP, ORACLE, Office 365, eccentex

セキュリティ
CYBERARK

クラウド/仮想化
vmware, ORACLE, amazon web services, Google Cloud Platform, CITRIX, zapier, Microsoft Azure, MuleSoft

機械学習/深層学習
Microsoft Cognitive Services, LARCAI, TensorFlow, ABBYY, retechnica, IBM Watson, Google Cloud Platform

PROCESS

Ui

DATA

OCR、自然言語処理、デジタルアシスタント
Dialogflow.com, kore.ai, IBM Watson, NUANCE, ORACLE, Microsoft Cognitive Services, Google Cloud Platform

データ分析/ダッシュボード
kibana, kafka, Spotfire, QlikView, Power BI, tableau

プロセスマイニング
celonis

CRM/ITサービス管理
salesforce, Microsoft Dynamics, service now, ORACLE, SAP

#UiPathForward

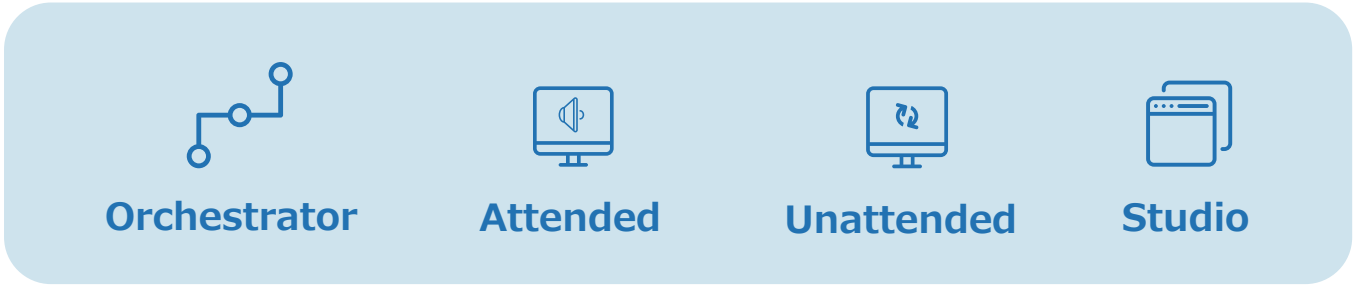
2018年の進捗

重要投資ポイント

① 日本仕様のグローバル製品への取り込み

② 日本語サポートの充実

④ マーケットプレイス



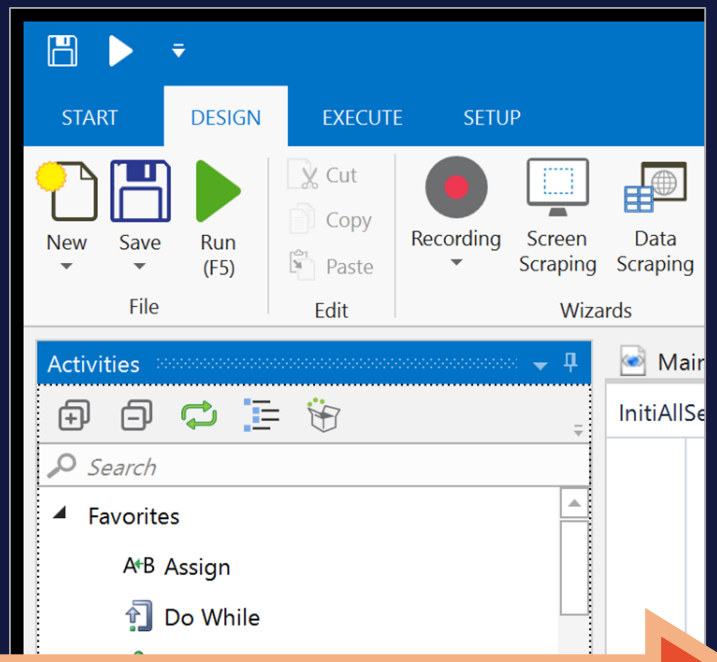
③ 自動化サポート
ノウハウの提供

⑤ パートナー協業体制の確立

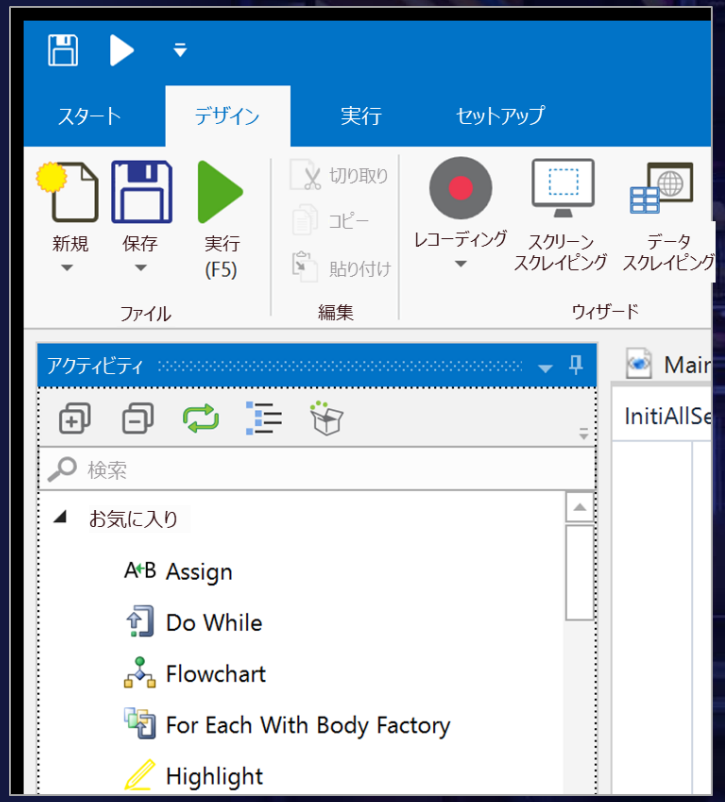
① 日本仕様のグローバル製品への取り込み
日本要望の主要例示

1. 製品ユーザーインターフェイスの日本語化に対応
（ロボットの日本語化処理は既に対応済み）

English UI



Japanese UI (2018.3)



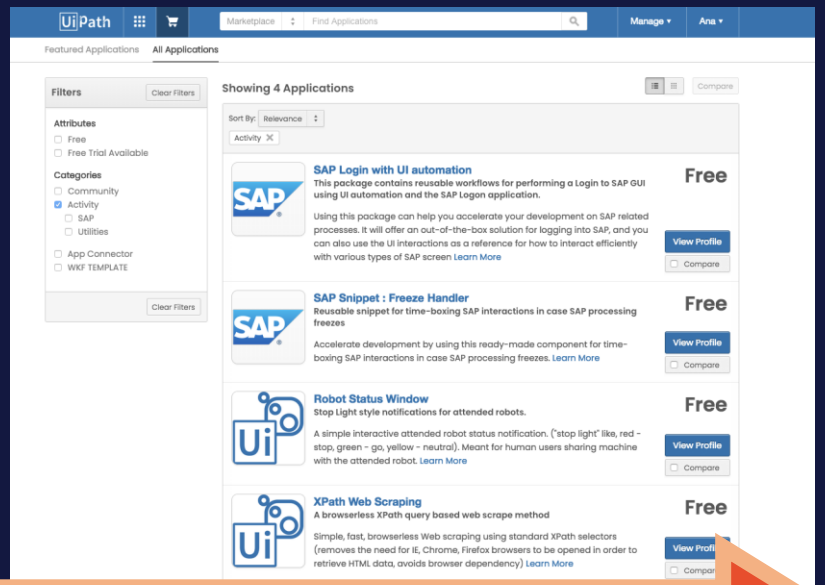
9月末リリース予定

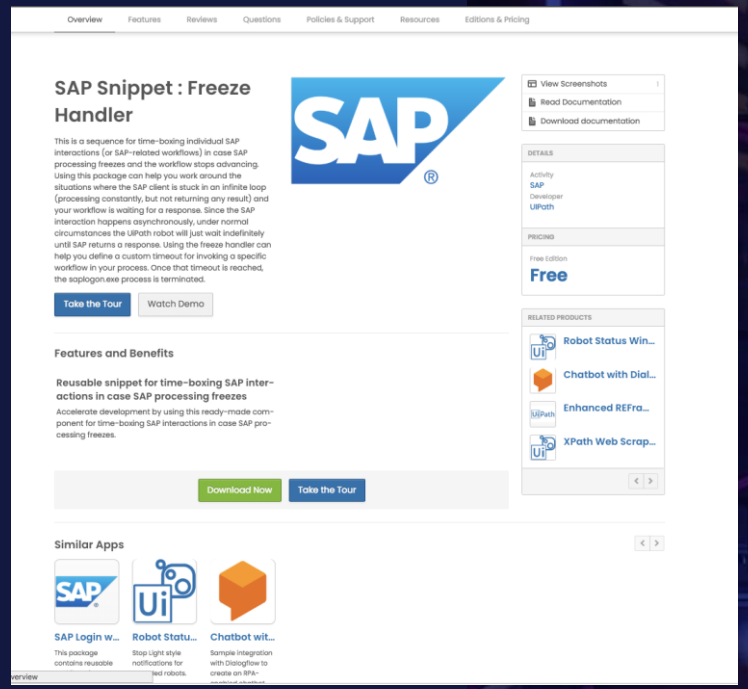
2018年の進捗

① 日本仕様のグローバル製品への取り込み
日本要望の主要例示

2. マーケットプレイス

UiPathの日本及びグローバル、先進顧客の事例、パートナー会社の資産を共通部品として提供





9月末リリース予定

#UiPathForward

② 日本語サポートの充実・トレーニング

UiPath Academy (https://academy.uipath.com)

- ✓ オープンなトレーニング
- ✓ RPAに関わる全ての人材育成
- ✓ オンラインで誰でも無償で受講可能

現在日本語でご提供しているトレーニング

- RPA Developer Foundationトレーニング
- Orchestrator 2016.2トレーニング
- SAP Automationトレーニング

② 日本でのトレーニングの実績（2018年5月末時点）

UiPath Academy

オンラインコース

受講登録者数	10,284 人
修了者数	2,427 人

Advanced トレーニング

実施回数	6 回	受講者数	64人

UiPath 日本独自の集合研修

エンドユーザー様向け	実施 33社47回 受講者数1,119人
パートナー様向け	実施回数 7回 受講者数 510 人

2,400人の修了者／1,700人が集合研修を受講

関西地区でのトレーニング開催のご案内

パートナー主催のトレーニング

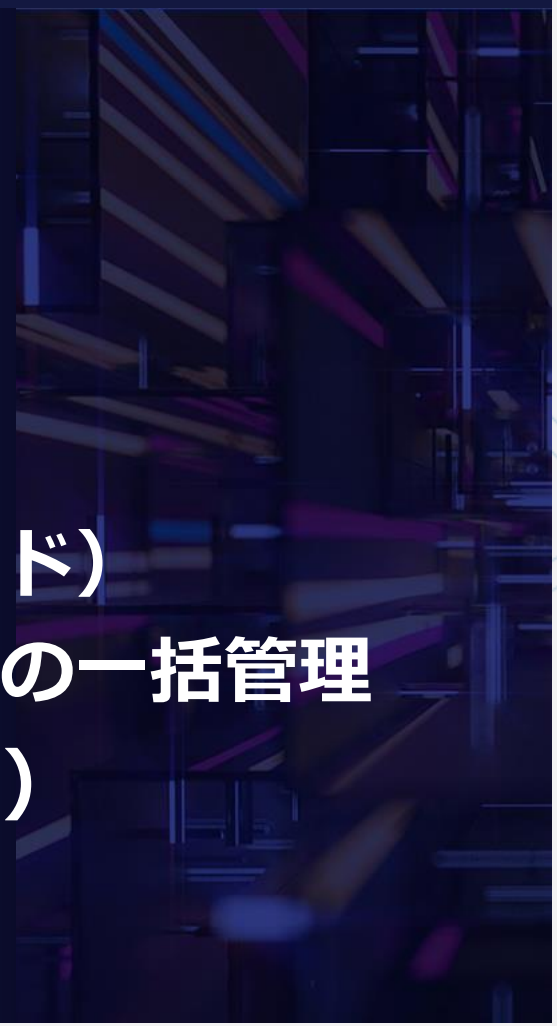
CTCテクノロジー株式会社	7/24, 25, 26 RPA01 業務自動化 UiPath 初級	日本サード・パーティ株式会社 大阪トレーニングセンタ
パーソルプロセス&テクノロジー株式会社	7/3, 23 UiPath 研修 基礎編	パーソルプロセス&テクノロジー 関西支社 セミナールーム
SCSKサービスウエア株式会社	大阪:7月中旬頃～、名古屋:7月20日～ UiPath 実機操作トレーニング基礎編 (定期開催予定)	SCSKサービスウェア株式会社 ・大阪センター ・名古屋センター
バーチャレクス・コンサルティング株式会社	6/29, 7/6, 20, 8/3, 31 UiPath 実践型ワークショップ基礎編	ＡＲアドバンストテクノロジ 株式会社内 セミナールーム

#UiPathForward

Copyright © 2018 UiPath All rights reserved.

③ 自動化サポートノウハウの提供

1. 海外の先進事例
2. 方法論、標準化、ガバナンス
3. スケール導入の実例
4. ロボット活用（配置、効果測定、アップグレード）
5. ロボット保守、モニタリング、社内システムとの一括管理
6. ツールの提供（ロボットコードレビューツール）



2018年の進捗

④ マーケットプレイス

UiPathの日本及びグローバル、先進顧客の事例、
パートナー会社の資産を共通部品として提供

1. AI/Cognitive連携
   OCR（ ABBYY様、AI inside様、 PFU様）
2. ロボット監査対応パッケージ
3. パートナー様との協業
   会計パッケージの連携、情報ベンダー、人事のBPO例
4. テクノロジーパートナーとの協業
   （Celonis様、 SAP様、 Elastic様、ORACLE様、
   Salesforce様）

9月末リリース予定

製品として
汎用的に提供

⑤パートナー協業体制

パートナーの条件

高い資質をもつパートナー

1. 業務の自動化力
2. １次切り分けのサポート
3. ワンストップとしての製品販売

多様なパートナー

1. 全体統合型
   （ガバナンス・設計・導入および保守）
2. 導入および保守、サービスに強み
3. RPAにフォーカス
4. 特定の業界の業務解析に特化

今日の内容についても、顧客をよく知る
パートナーによるフォローアップ、QAを予定

32

関西地区にコミットするパートナー

ゴールドスポンサー（5社）

関西地区をサポートするパートナー

協賛スポンサー（32社）

ABeam Consulting
accenture
avanade
Bigtree Technology Consulting
Capgemini
Deloitte. デロイト トーマツ
GrowShip Partners
genpact Transformation Happens Here
クオリティ・ソーシング DSB
HITACHI Inspire the Next 日立システムズ
IBM
KS Solutions
INTEC TIS INTEC Group
TIS TIS INTEC Group
コベルコシステム
DCS 三菱総研グループ
NRI 未来創発 Dream up the future.
NTT DATA
PERSOL パーソル プロセス＆テクノロジー
Power Solutions
QUALICA TIS INTEC Group
RICOH
さくら情報システム
SCSK
SystemSoft
SPS
TATA CONSULTANCY SERVICES JAPAN A Tata Consultancy Services and Mitsubishi Corporation Joint Venture
tdi 情報技術開発株式会社
TECHNOS JAPAN
SYSCOM 豊通シスコム TOYOTSU SYSCOM CORPORATION
UNISYS
Virtualex Consulting バーチャレクス・コンサルティング株式会社

#UiPathForward

関西地区をサポートするテクノロジーパートナー

テクノロジーパートナー（8社）

…本日ブース出展あり

#UiPathForward

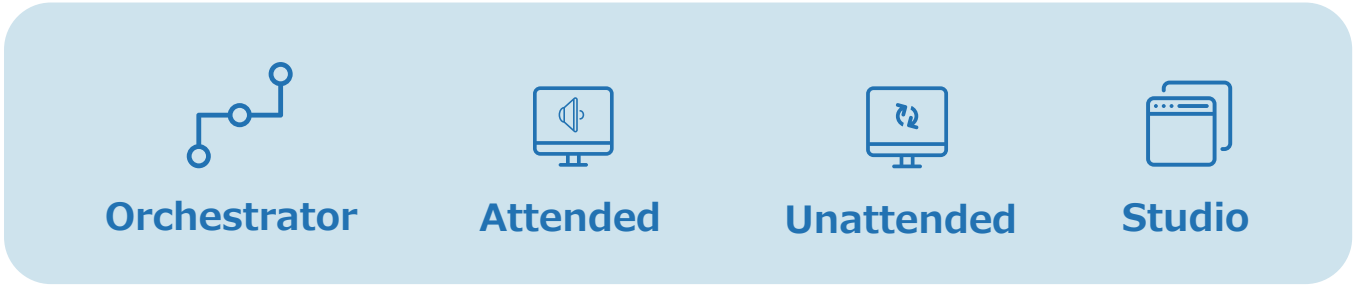
顧客のための重要投資ポイント

UiPath

① 日本仕様のグローバル製品への取り込み

② 日本語サポートの充実

④ マーケットプレイス



③ 自動化サポートノウハウの提供

⑤ パートナー協業体制

#UiPathForward

2018年の進捗

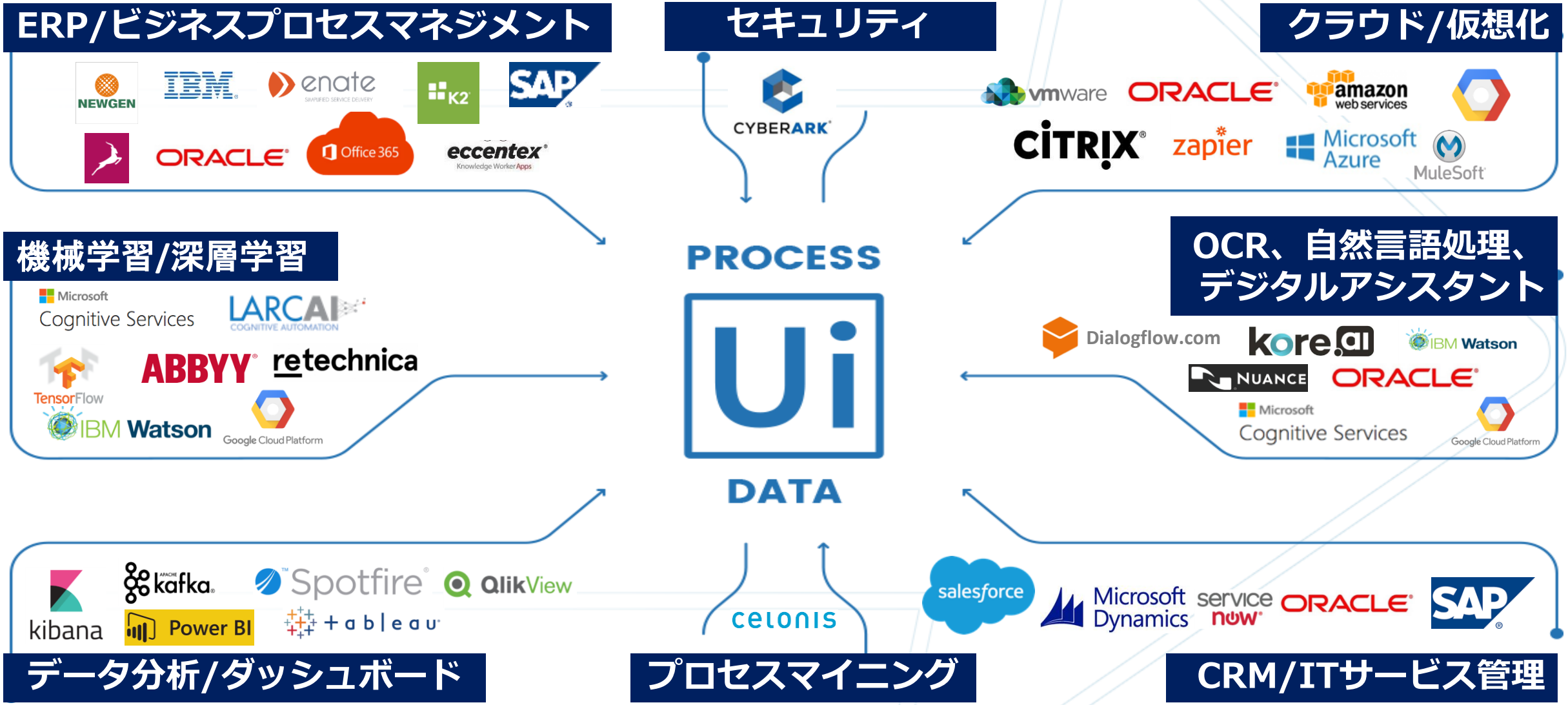
進捗と体制について

#UiPathForward

Beyond RPA

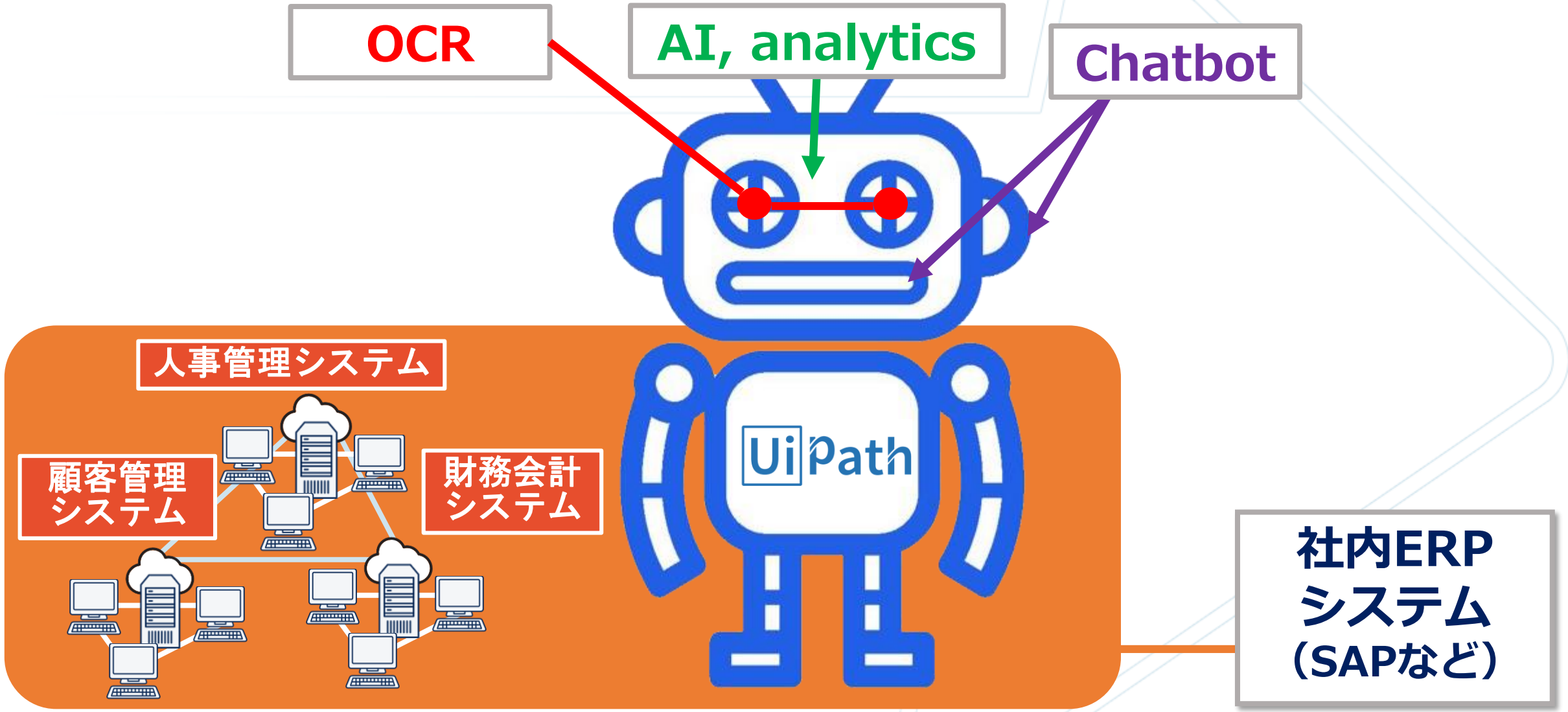
RPAのその先へ

デジタルプラットフォーマー
（既存のシステムと新しいテクノロジーをつなぐ）



#UiPathForward

UiPath（ユーザーインターフェイスのパス（道））から AIへのパス　今のレガシーを再投資なしで賢くできる



#UiPathForward

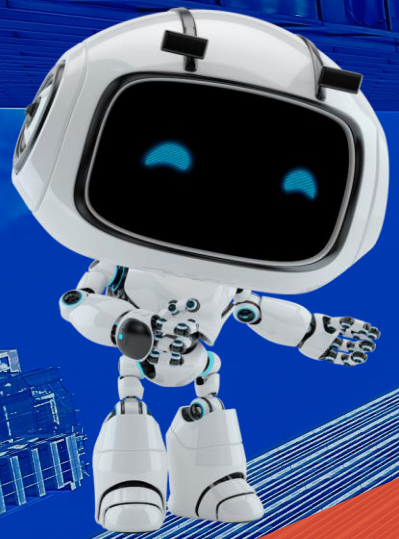
新しいビジネスモデルの創造

新しいビジネスを
創造するのが
人間の役割

あなたに部下が1000人できたら?

#UiPathForward

Winning Together！



UiPath

お客様、パートナー様とともに！